

題材： 小学校第6学年社会科(日本文教出版)『武士による政治の安定』『キリスト教の禁止と貿易の取りしまり』

【導入段階】 まずは本時の学習内容で学ぶ語句や事象等の概要を知識として教える



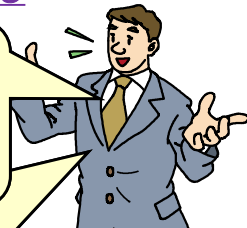
海外との貿易許可書



アジア各地との貿易

江戸幕府が開かれた当初は・・・

積極的に貿易をしてアジア各地に**日本町**ができたり、日本に多くの宣教師が来てキリスト教が広まったりする。外国との交流がとても盛んだっただけでも・・・



1610年以降からは逆に次のような状況に・・・

鎖国

- 日本人が外国に行くことを禁止
- 外国との貿易を制限(出島でのオランダ・中国のみ)



出島(長崎市)

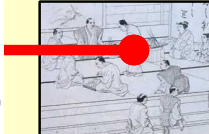


出島での貿易の様子

+



ふみ絵



役人の前でキリスト教信者でないことを確かめさせた

キリスト教の禁止

- キリスト教信者の厳しい取りしまり
- キリスト教信者・百姓などの反乱



島原・天草一揆
天草四郎を中心にキリスト教信者や百姓が江戸幕府に反乱

江戸幕府の政策の転換に着目して・・・

【めあて】 なぜ、江戸幕府は鎖国やキリスト教を取りしめる政策を行ったのだろうか？

【展開段階】 導入段階で得た知識や既習事項をもとに個人→グループで最適解・納得解を導く

①個人での思考



前の時間に江戸幕府は身分のちがいをもとに支配をかためたことを学んだなあ

キリスト教の信者が多くなると外国の力が強くなって幕府の力が弱くなるのではないか



幕府は全国の大名家や百姓、町人などを確実に支配するために、他の力や考え方が入ってくることを避けたかったのではないか

※ 付箋紙やタブレット端末等への記入も効果的

③各班の考えを全体で協議

(共通項+追加項+異なる考え)

全ての班の考えをまとめると・・・

※ 6/17中部教育事務所学力向上研修会:演習プレゼン参照

【まとめ】 ④協議を経てまとめる

鎖国やキリスト教を取りしめる政策を行ったのは、新たな外国勢力やキリスト教の考え方により江戸幕府による支配に大名や百姓、町人が従わなくなる恐れがあったため。

【終末段階】

本時学習内容の語句や事象の確実な定着
又は 発展的な課題の提示で習熟を図る

レベル① 「基本的な学習内容の習熟」の場合



今日新たに出てきた語句は鎖国、出島……。江戸幕府は外国の力やキリスト教の考え方などにより、大名や百姓、町人が幕府に……。

レベル② 「実社会・実生活での活用をイメージした」場合

もし、今、日本が鎖国をしたらみなさんの生活はどうなるでしょう？



食料自給率が低いし、貿易で原料が入ってこないのが大変なことになる



今や外国の情報が入ってこない日本は……

②協働的な学び

各班の**最適解・納得解**

鎖国やキリスト教を取りしめる政策を行ったのは大名や百姓、町人がキリスト教信者や外国の力を借りて反乱をおこすことを江戸幕府が恐れたため

つまり

例えば

キリスト教の考えでは身分制が崩れる恐れ

宣教師とともに外国の力が入ってくる恐れ

武家諸法度等で大名を支配する体制が整ったばかり

